

製品名: DAB2IP マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86020**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	131.6kDa

抗原情報

遺伝子名	DAB2IP Disabled homolog 2-interacting protein, DAB2 interaction protein, DAB2-interacting protein, ASK-interacting protein 1, AIP-1, DOC-2/DAB-2 interactive protein, DAB2IP, AF9Q34, AIP1, KIAA1743
別名	
遺伝子 ID	153090.0
SwissProt ID	Q5VWQ8
免疫原	この DAB2IP 抗体は、ヒト DAB2IP の 782 ~ 1038 アミノ酸からなる組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

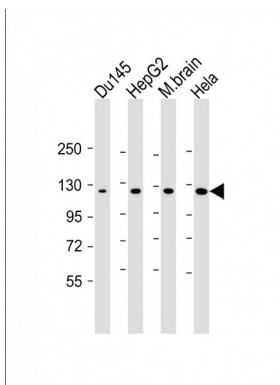
背景

広範囲の一般のおよび特殊なシグナル伝達経路の調節に与する足場タンパク質として機能します。自然免疫応答、炎症および細胞増殖抑制、アポトーシス、細胞生存、血管新生、細胞移動および成熟などのいくつかのプロセスに関与しています。また、細胞周期チェックポイント制御においても役割を果たし、G1期サイクリンのレベルを低下させてG0/G1細胞周期停止を引き起こします。腫瘍壊死因子 (TNF)、インターフェロン (IFN)、リポ多糖 (LPS) などの受容体介在性炎症シグナルによるシグナル伝達を媒介します。ホスファチジルイノシトール 3キナーゼ (PI3K) -AKT 介在性細胞生存とアポトーシス刺激キナーゼ (MAP3K5) -JNK シグナル伝達経路のバランスを調整し、AKT1 と MAP3K5 の両方を隔離し、炎症誘発性刺激に応じてリン酸化状態を調整することで各キナーゼの活性を相殺します。小胞体 (ER) アンフォールドタンパク質応答 (UPR) 経路の調節因子として作用し、ER ストレス応答から ERN1 を介した JNK カスケードへの伝達に特異的に関与する。MAP3K5 から阻害因子 14-3-3 の解離を促進することで、TNF- α 誘導性アポトーシス活性化を媒介する。また、MAP3K5 の「Ser-966」を脱リン酸化させる PP2A ホスファターゼ複合体をリクルートすることで、13-3-3 タンパク質の解離を誘導し、内皮細胞における MAP3K5-JNK シグナル伝達経路を活性化する。また、TNF/TRAF2 誘導性 MAP3K5-JNK 活性化を媒介する一方で、CHUK-NF- κ B シグナル伝達を阻害する。平滑筋細胞 (VSMC) の増殖および内膜拡張を阻害することで、IFN- γ を介した JAK-STAT シグナル伝達カスケードの負の調節因子として作用し、移植動脈硬化 (GA) を予防します。ADP リボシル化因子 6 (ARF6) および Ras の GTPase 活性化タンパク質 (GAP) として作用します。ARF6 に結合した GTP の加水分解を促進し、リポ多糖 (LPS) に反応して内皮細胞におけるホスファチジルイノシトール 4,5-ビスリン酸 (PIP2) 依存性 TLR4-TIRAP-MyD88 および NF- κ B シグナル伝達経路を負に制御します。ホスファチジルイノシトール 4-リン酸 (PtdIns4P) およびホスファチジルイノシトール 3-リン酸 (PtdIns3P) に特異的に結合します。血管内皮増殖因子 (VEGFA) に反応して、VEGFR2-PI3K を介した血管新生シグナル伝達経路の負の調節因子として作用し、内皮細胞の遊走および管腔形成を阻害する。発達中の脳において、グリア依存性運動過程において、多極性期から双極性期への移行と、大脳皮質の脳室帯から表層への皮質ニューロンの放射状遊走を促進する。リーリンシグナル伝達経路の下流エフェクターと考えられ、プルキンエ細胞 (PC) 樹状突起の発達と小脳シナプスの形成を促進する。前立腺癌の進行において腫瘍抑制タンパク質としても機能する。グリコーゲン合成酵素キナーゼ 3 ベータ (GSK3B) 誘導性ベータカテニンの活性化と PI3K-AKT および Ras-MAPK 生存下流シグナル伝達カスケードの阻害を介して、細胞増殖と上皮間葉転換 (EMT) を防ぎます。

研究分野

アポトーシス

画像データ



全レーン: 抗 DAB2IP 抗体 (1:1000 希釈)

